

大槌第6、第7仮設団地

支援員ニュース

おじゃましまーす

ミサンガ作りとウォーキングで頭も体もリフレッシュ

大槌第6、第7仮設団地の集会所は、大槌川沿いの仮設では一番下流の集会所です。こちらでは、支援員と住民のみなさんとミサンガ作りとウォーキングに力をいれています。

ミサンガ作りは毎週月曜日の。いろんな色の刺繍糸から好きな色を選び、組み合わせを考えながら編み始めます。

簡単なものは5分程、難しいものは丸一日かかります。編み方が複雑なもの、段を数え考えながら作るの頭の体操になります。

やつと作り方を覚えたという住民の方は「家で、もんもんとしてるより良い。



「一緒に歩きましょう！」と支援員一同



(上) みんな、ミサンガの製作に没頭中  
(下) 色とりどりのミサンガ！着けるととてもステキです



しやべれるし、それこそ安否確認だ」と話してくれました。

おしゃべりをしながら手を動かす方、口でぶつぶつ編み方を確認しながら一心不乱に作る方、それぞれの思いを編み込み中です。

毎日10時からラジオ体操も実施していますが、歩いたほうがもっと効果的と体操後ウォーキングもしています。最近寒くなってきたので、ウォーキングは時間をずらして午後1時半から行うようになりました。

仮設にばかりこもらずに、おしゃべりしながら楽しく歩くようにしています。

「会話を楽しみながらだ」と住民さん。最近あちこち家が建ち始めたので、変わり行く沿道を感じたり、季節の移ろいを感じながら歩いてるそうです。

大槌第6、第7の支援員は、住民と一緒にミサンガを作ったり、歩いたりしながら、頭と体の健康を保ちつつ信頼関係を築いていけたらと願っています。

イトヨ調査隊 おみやげランキング

あなたは何を持っていますか？

この時期、町内に懐かしい顔が増えます。帰省してきた友達と「いつ帰って来たの？」「いつまで居るの？」そんな会話が弾みます。

実家でお休みを過ごした後、それぞれ勤務先などにおみやげを買って帰りますよね。いつもお気に入りの同じものという方もいれば、毎回

違うものを持ってくよという方も。何がいか迷うという声も聞くので、今回おみやげランキングを調べてみました。対象は全支援員と集会所、談話室に遊びに来てくれた住民の方々です。(総有効得票数225票)ご協力ありがとうございました。

1 ワカメ

31票 やっぱり三陸産は最高!! (他に「海産物」が14票ありました。)



2 かもめの玉子 (さいとう製菓)

20票 モンドセレクション強し!



3 イクラ

18票 値は張りますが喜ばれます(^\_^)V



4 さけ最中 (大坂屋菓子店)

17票 老舗の味。形もかわいい(๐\_๐)/



5 城山ポテト (エルマーノ)

16票 最近の定番です(^\_^)



番外編 「松茸」「アワビ」がそれぞれ2票。豪華! 貰えた人は大喜びですね!

Information

●未来の風 せいわ病院

- 「音楽療法」
- 【日時】1月15日 13:00 ~ 14:00 【場所】小槌第4 (エコハウス)
- 【日時】1月15日 15:00 ~ 16:00 【場所】小槌第5
- 【日時】1月26日 16:00 ~ 17:00 【場所】吉里吉里第2

編集後記

明けましておめでとうございます。そんな気分じゃないよとお叱りをうけるかもしれませんね。年末年始の光景が一変してから二度目の冬です。

毎年、お餅をついてお供えを作りお雑煮や煮しめ、なますなどを作ってあっという間に大晦日。帰省してきた家族と紅白を見ながら年取りを祝い、明けたら初詣。新しいカレンダーをめくる瞬間が好きでした。

- 心の架け橋 いわて「こころの健康サロン」
- 【日時】1月19日 10:30 ~ 12:00 【場所】安渡第2
- 心の架け橋 いわて「新春 笑い与健康高座」
- 【日時】1月26日 10:30 ~ 12:00 【場所】大槌第7

※予定が変更となる可能性もございますので、ご了承下さい。

今は狭い仮設暮らし。家族揃って新年を迎えることは叶わず、お節も無駄になっては作っていません。

でも暗い気持ちのままでは辛すぎる。ちょっと考え方を変えて、暇な年末年始、普段時間がなくて出来ない事にチャレンジ、チャレンジ!

毎号少しでも明るい記事をお届けできたらと、つたない文章を綴っています。

今年もイトヨ便りをよろしくお願いたします。(N)

ご意見・ご感想は、こちらまで。大槌町上町1-6/0193-41-2780 otsch.info@gmail.com



今月のスマイル

気合で寒さも吹き飛ばそう! 剣道 上京道場



道着姿もキリリと決まっています!

今回は剣道の上京道場におじゃましました。小学2年生から中学生、高校生まで19人の子どもたちが通っています。

まず一礼して道場へ。小さい子もきちんと礼が身につけています。ストーブが焚かれています。はだしの稽古は

す。練習は毎週火、木、土の三日間。この日は12人の子どもたちが、稽古をしにきました。

足が冷たそう。でも小学生たちは元気いっぱいです。練習で疲れたよーといいながら、休憩時間になると、道場

中をじゃれあいながら走り回っていました。

指導者の佐々木重吾先生は言います。「強ければいいというものではない。負けても立派な剣道をし、そこに将来性を見出す。人格形成が大事。しっかり地を鍛え、続けていった先で何かの糧になれば」と。

子どもたちも、その思いに答え、明日の自分を信じて熱心に稽古に通っています。小学生の子に目標を聞いてみると、「二段までちゃんと取りたい」としっかり答えてくれました。

夏には暑中稽古があり、年が明けたら寒稽古。春夏秋冬を感じながら、強い精神力が身につくことでしょう。